

事前評価チェックシート

計画の名称： 茨城県における総合的な浸水・土砂災害対策の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性【茨城県総合計画「新しい茨城」への挑戦(H30～R3)】	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）【集中豪雨の多発や台風の激化、海岸侵食の進行、都市化の進展等に伴う被害リスクの増大に対し、総合的な河川や海岸の浸水対策を実施することにより、水害に強い県土を作るとともに、安心安全な県民生活の確保を図る。】	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）【土砂災害危険箇所において、土砂災害防止施設の整備を実施することで、地域住民の人命・財産を保全し、土砂災害から安全で安心して暮らせる地域づくりを行う。】	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性【一定の治水安全度を確保する河川延長及び割合を増加させる、及び汀線防護が概成している海岸延長の割合を増加させる、土砂災害危険箇所における土砂災害防止施設を増加させる等により、安心安全な県民生活の確保を図ることができる。】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【事業区間において、一定の治水安全度を確保する河川延長及び河川改修率の増加】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【事業区間において、河川改修により一定の治水安全度を確保して、計画規模の降雨に対し、想定される浸水被害の減少】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【長寿命化計画に基づき延命化を図り、出水時における操作に支障がないようにする河川管理施設数】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【データ収集配信が高速化された水位計及び雨量計の観測施設設置数及び迅速かつ効率的な情報伝達の恩恵を受ける流域内人数】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【堤防の安全性照査により要対策と診断された区間において、堤防強化対策を実施する延長】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【侵食海岸において、汀線防護が完了する割合】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【海岸堤防の健全度調査により要対策と診断された区間において、老朽化対策や破堤防止対策を実施する延長】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【堰堤改良事業実施中のダム（十王ダム）における、老朽化等による各機器設備の故障件数】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【対策工事が概成した土砂災害危険箇所数及び割合】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【2巡目調査を実施した1巡目指定箇所数】	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【堤防嵩上げなど津波・高潮対策を行う海岸数】	○

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性【長寿命化対策を策定する海岸数】	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性【河川改修及び海岸保全施設や砂防施設の整備等を行うことにより、浸水・土砂被害を軽減することができる】	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性【水害及び土砂災害に強い県土を作るとともに、安心安全な県民生活の確保を図る。】	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）【地元からの強い要望により河川，海岸，砂防事業等を実施している】	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）【近年，集中豪雨，高潮等が発生し，全国各地で大きな被害が発生していることから，河川改修及び海岸保全施設・砂防施設の整備要望が数多く出てきている】	○